

T1A1

70

Ka 96

編郎次楚河

閱校榮勢能

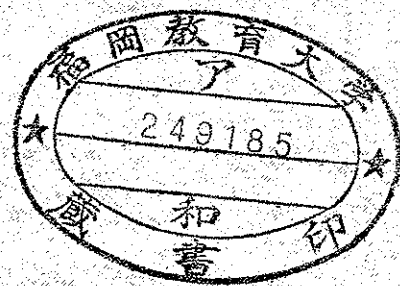
# 小學中等科畫學帖

編

後

版藏堂林慶

版出月四第年八十治明



小學中等科畫字帖後篇卷之一

凡例

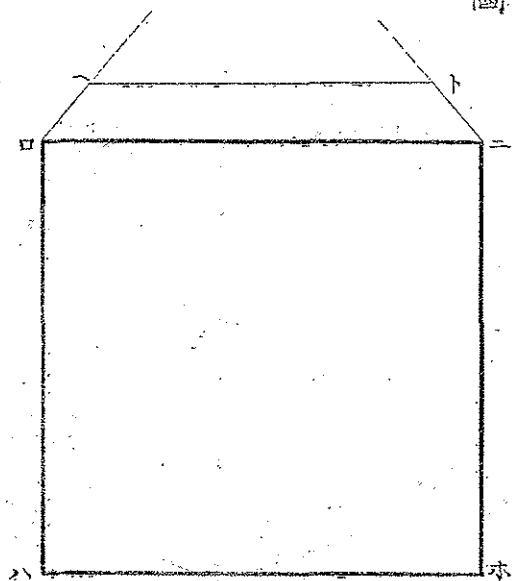
本編ニ揚ケタル諸圖ハ前編ニ載セタル者ト異ナ  
リ凡テ物体ヲ或ル一點ヨリ見ル時ニ其人ノ眼ニ  
呈スル所ノ形象ヲ描キタル者ニシテ其物体ノ位  
置ト其物体ヲ見ル一點ノ位置ニ因テ種々同シカ  
ラサル形狀ヲ發見スベシ見ル所ノ位置ニ因テ同  
一ナラサル形狀ヲ呈スルノ理ヲ會得セントスル  
ニハ画字ノ基礎トモ云フベキ透視画法ノ理ヲ知  
ラザルベカラス然レモ画法ノ理論ヲ述フルハ本  
編ノ主意ニアラサルユヘ今透視画法中自在画ニ  
緊要ナル條項數件ヲ撰擇シテ之ヲ左ニ掲ケ以テ  
初學ノ便ニ供セントス初メテ此類ノ画ヲ學ブ者  
ハ先ツ左ノ條項ヲ熟讀スルアレバ思ヒ半ハニ過  
キン

明治十八年四月

著者記

ルヲカヨノ三面ヲ現出ス可シ然レ氏此立方体ノ  
位置ハ前ノ第一圖ト等シク正歪面ナレ氏唯其異  
ル所ハ前ノ一圖ヨリ少シク左方へ移シタル所ヲ  
見ル故ナリ因テ(チリ)(ヌル)ノ一面ハ第一圖ト等シ  
ク画キ(チヌルヲカヨ)ノ二面ハ漸遠キユへ縮小シ  
テ画ク可シ又第三圖ハ前ノ二圖ト異リ左右ノ二  
面正歪面ト角度ヲナシ(イロ)ノ一稜ハ二面合スル  
正歪面ヲ距ルト最モ近ク(ハニ)(ホ)ノ二稜ハ漸遠  
キ故ニ(イロ)ノ一稜ヨリ正歪面ヨリ遠キトハ(ロ)ヨ  
リナス故分少シク短ク画ク可シ此立方体ノ画  
ヲ透視画法ニ於テ成角透視画ト云フ正歪面ニ角  
意第四圖ハ前ニ説明スルトコロヲ活用シ画ク事  
ヲ得ベシ因テ別ニ解ヲ附セス第五圖ハ前ノ立方  
体トハ異ナリタル圓柱ニシテ(ホ)ノ部分ハ近ク  
(イロ)(ハニ)ノ部分ハ漸々遠キユへ既ニ述ベタル理  
ニ基キ(イロ)(ハニ)ノ部分ハ(ホ)ヨリ短ク画ク可シ  
(トホ)ノ巨隅ハ初學ノ者能ク自ラ熟考シテ画クヲ  
要ス敢テ説明ヲ與ヘザルハ自ラ心手ヲ練磨スル  
ニ益アラシメンカ為ナリ第九圖ハ通常用ユル茶  
器ニシテ前ニ圓柱ノ画法ト殆ト同シカルベシ然  
レ處是等ノ画ハ其周圍不定形ナレバ能々注意シ  
手本ト比較シテ不同ナキ様画クヲ要ス凡テ技藝  
ハ師ノ教ヲ待ンヨリ自ラ刻苦勉勵シテ得ルノ益  
アルトヲ知ラサル可ラス

第壹圖



第貳圖

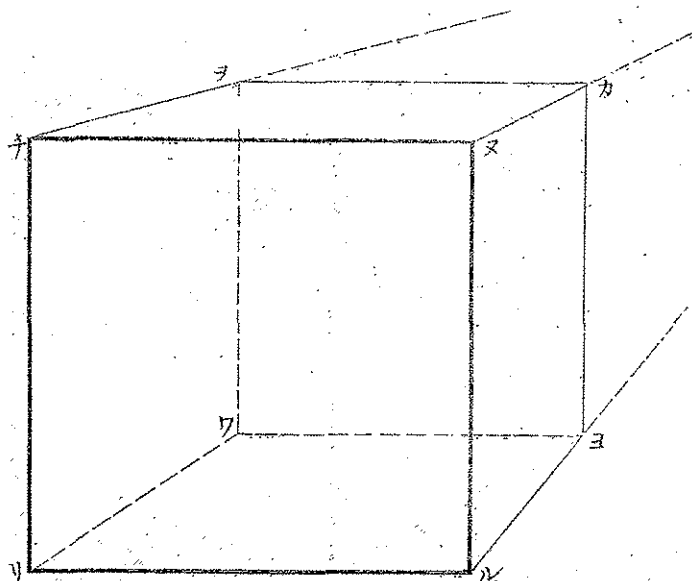


圖 四 第

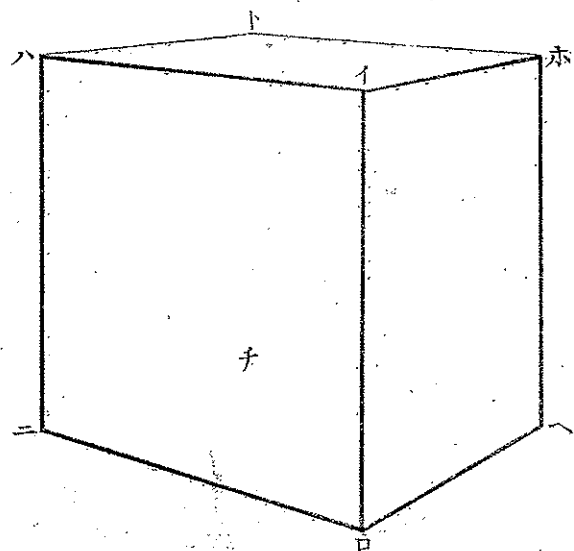
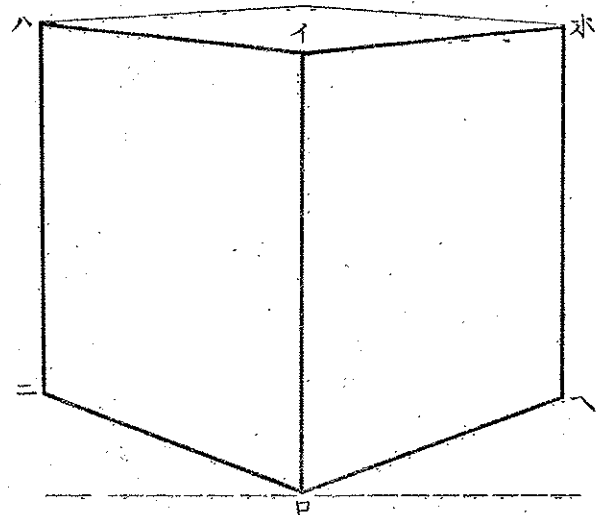
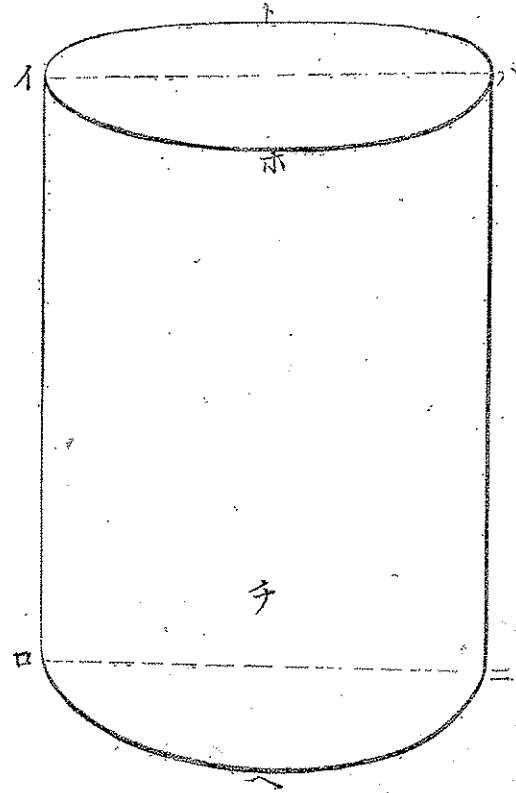


圖 三 第



第五圖



第六圖

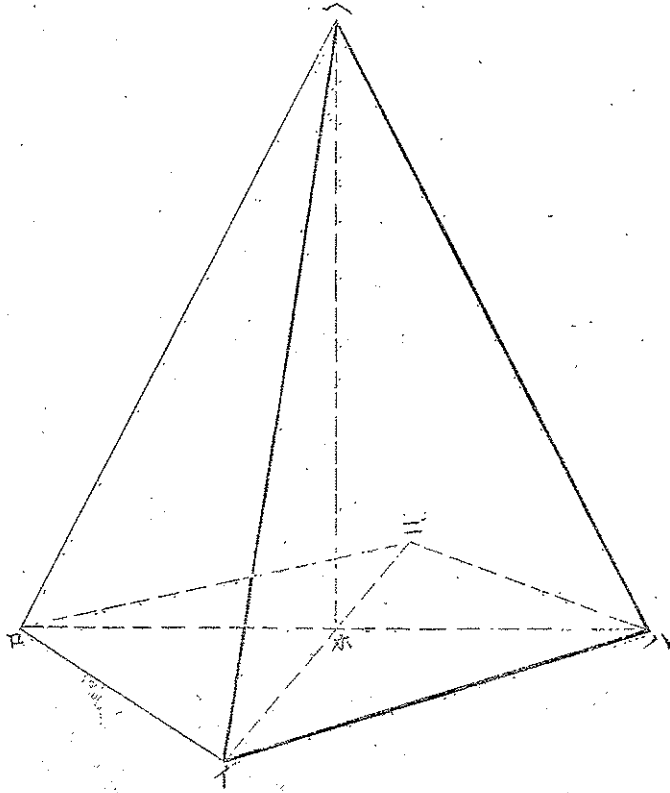


圖 七 第

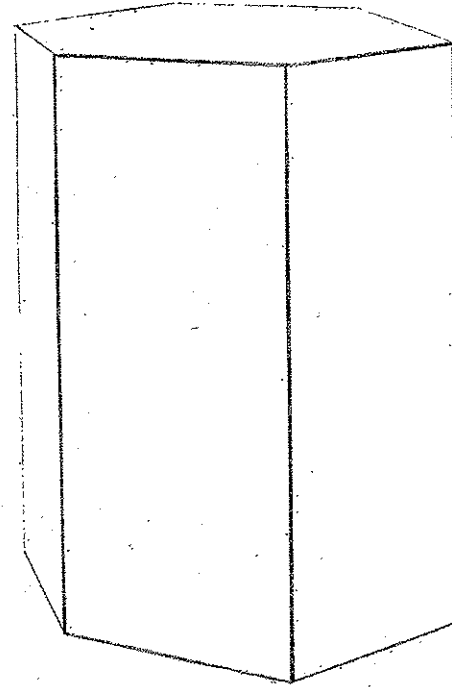
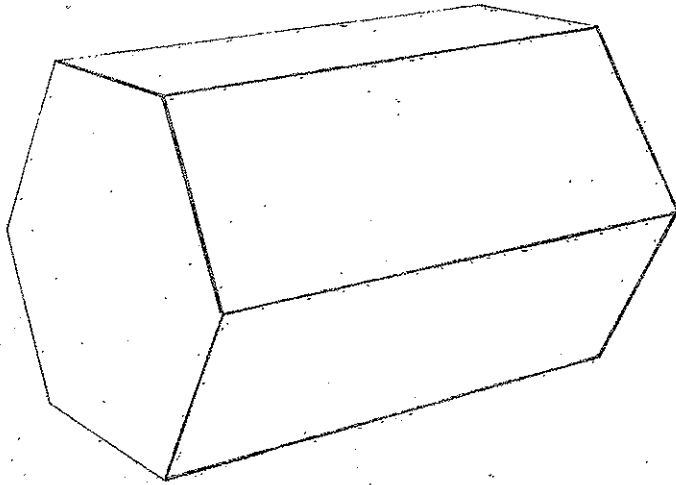
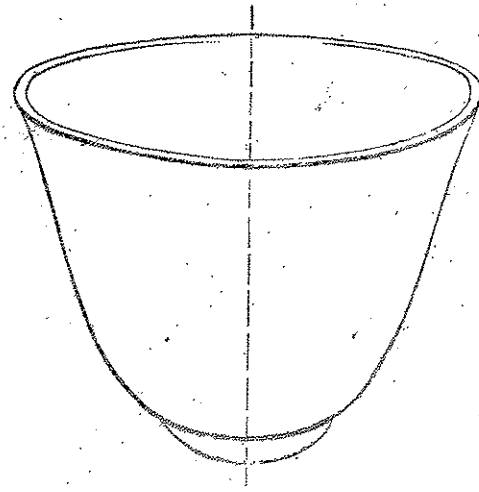


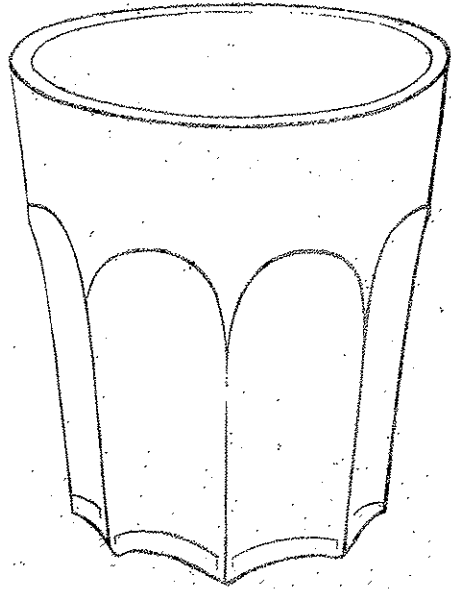
圖 八 第



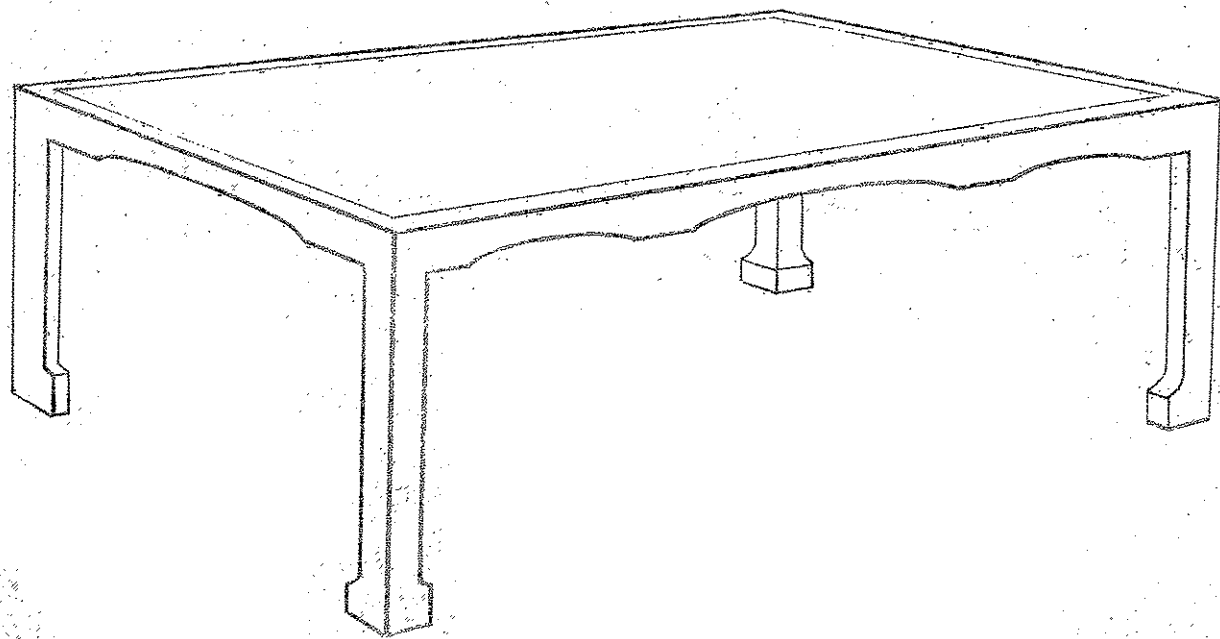
圖九第



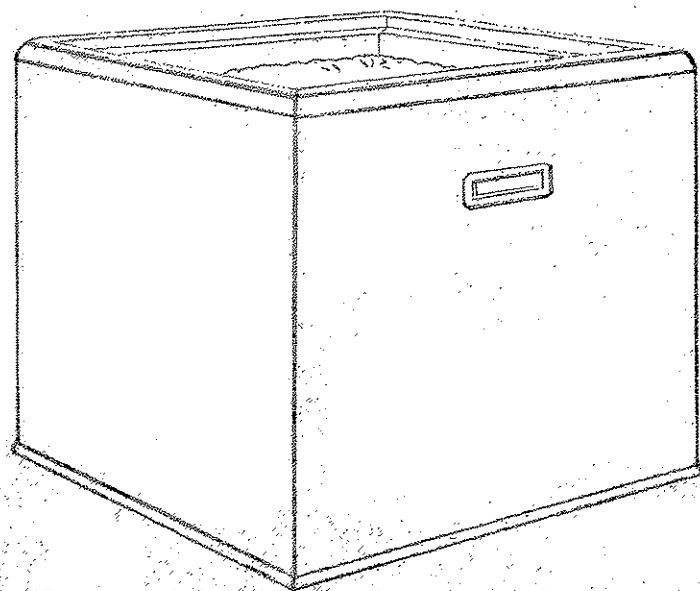
圖十第



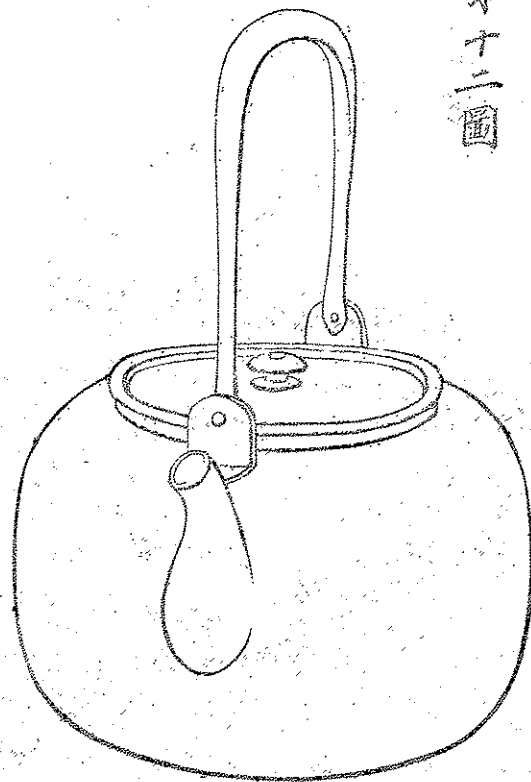
第十一圖



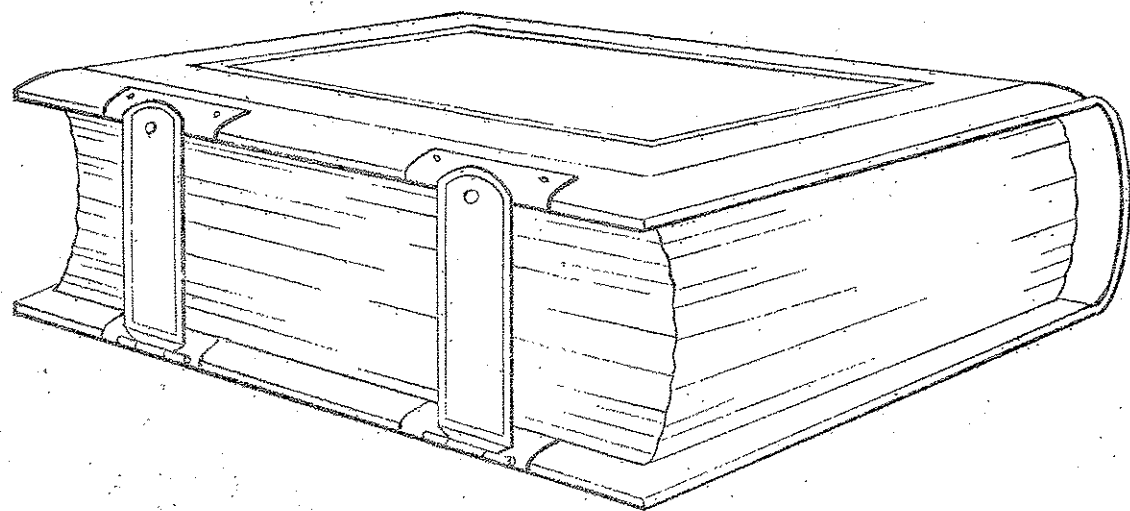
第三十圖



第十二圖

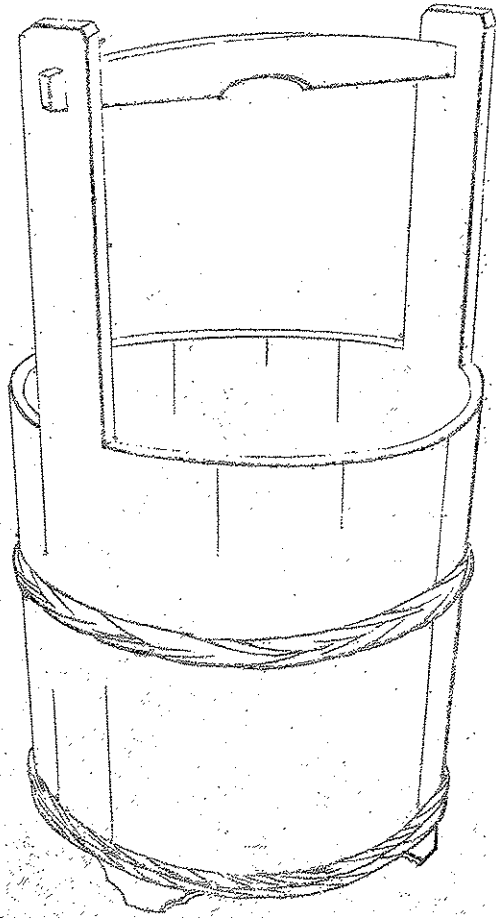


第十四圖

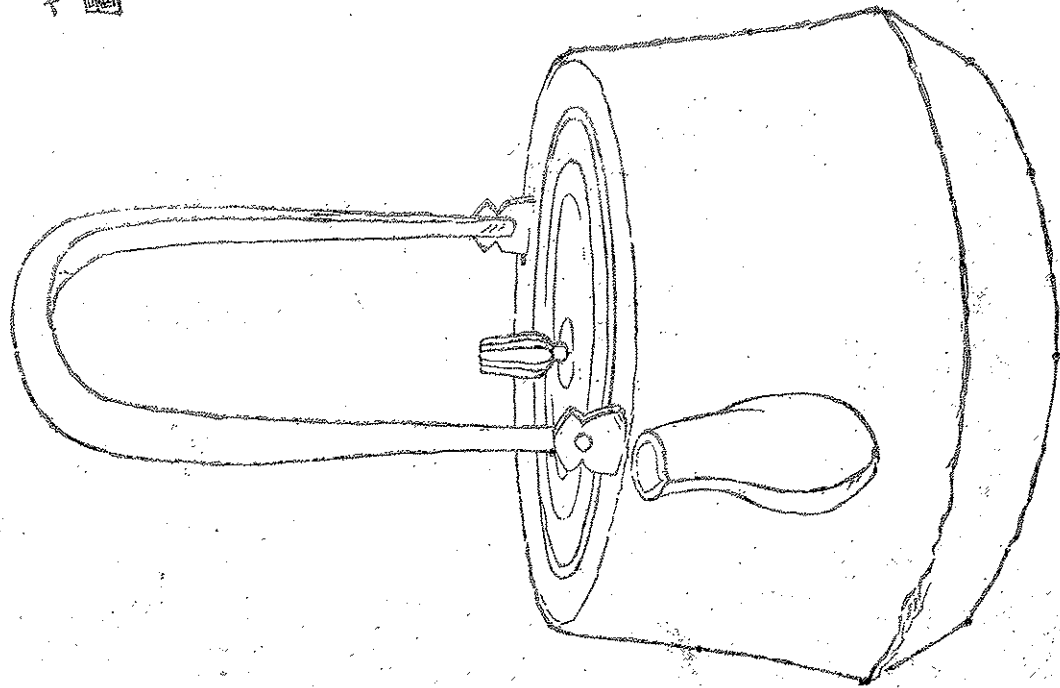


第五十圖

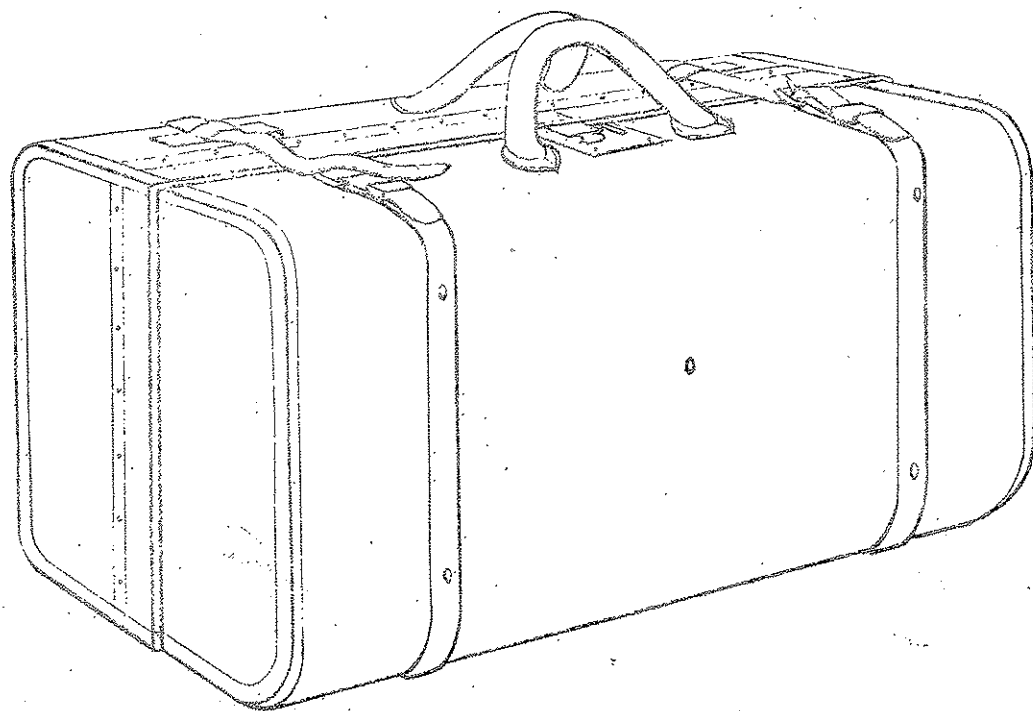
第十六圖



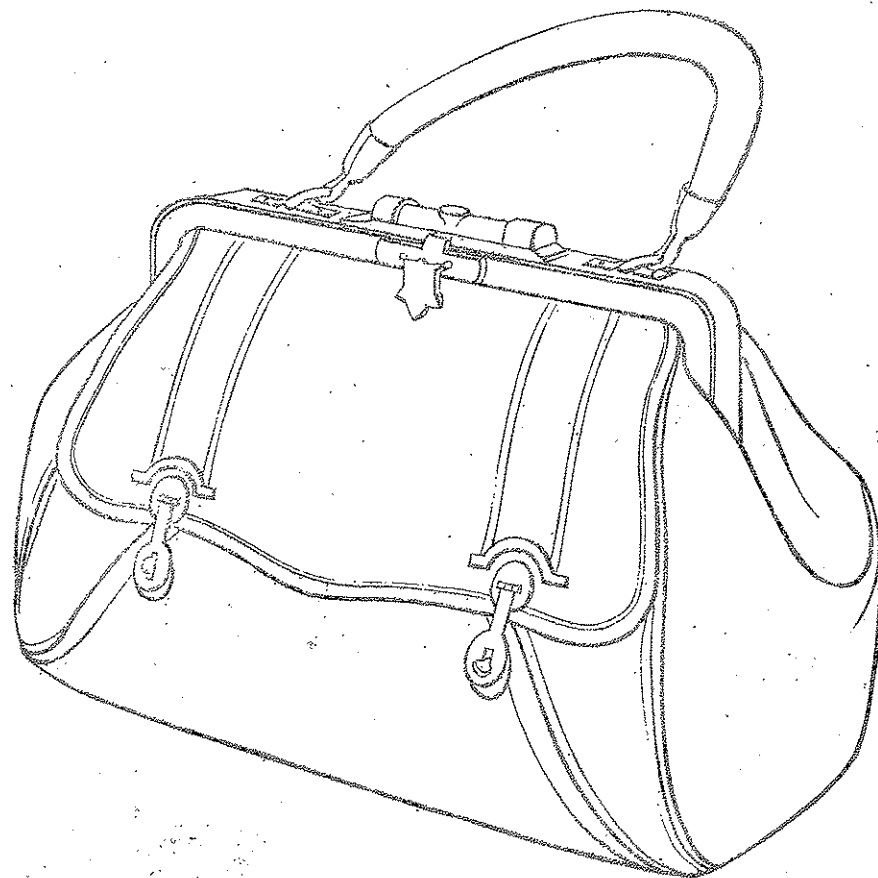
第十七圖



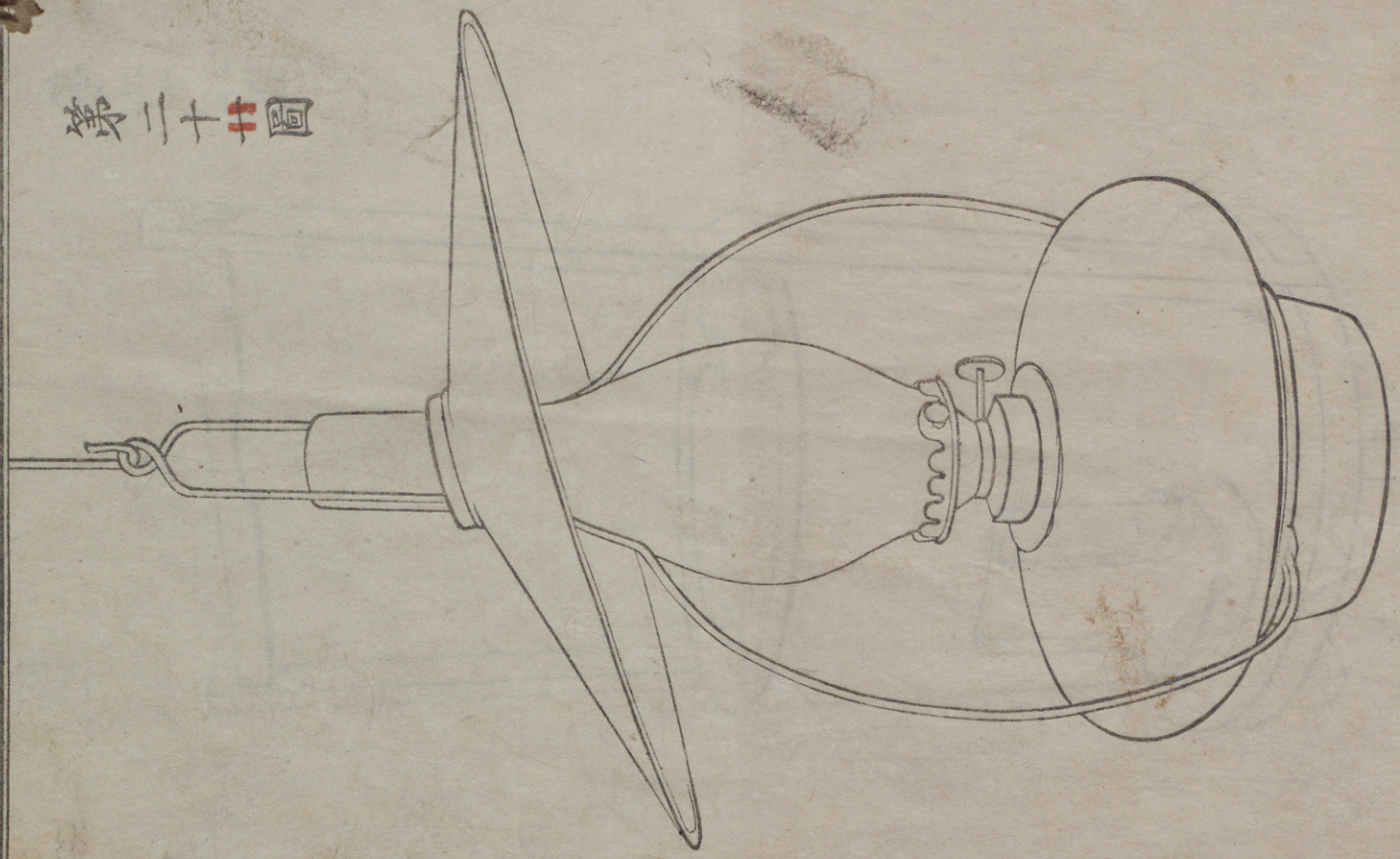
第十八圖



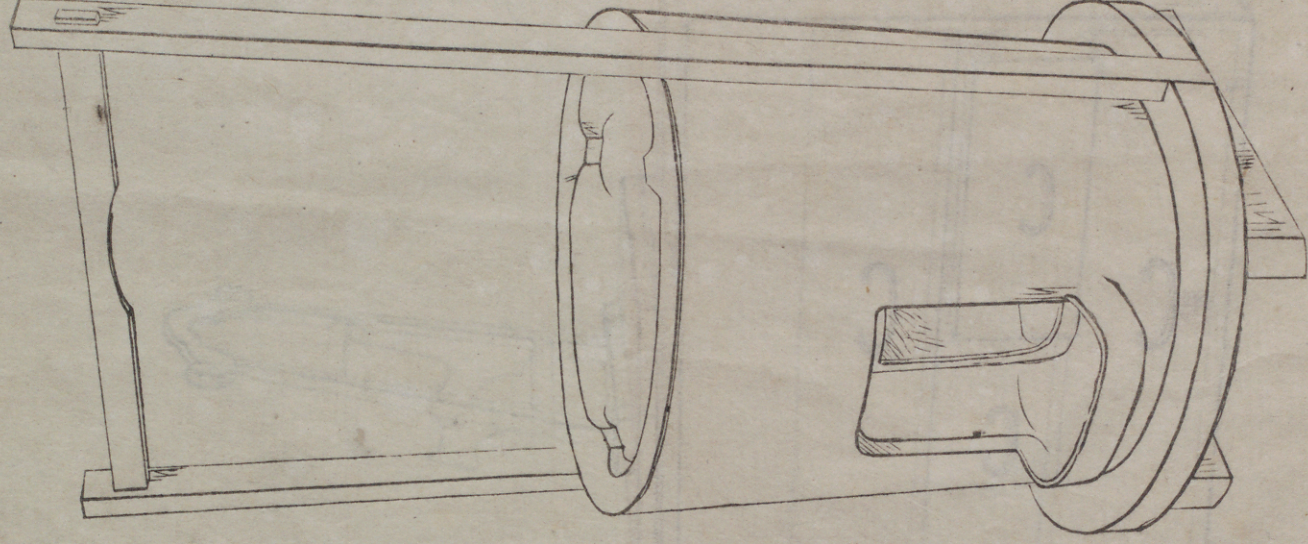
第十九圖



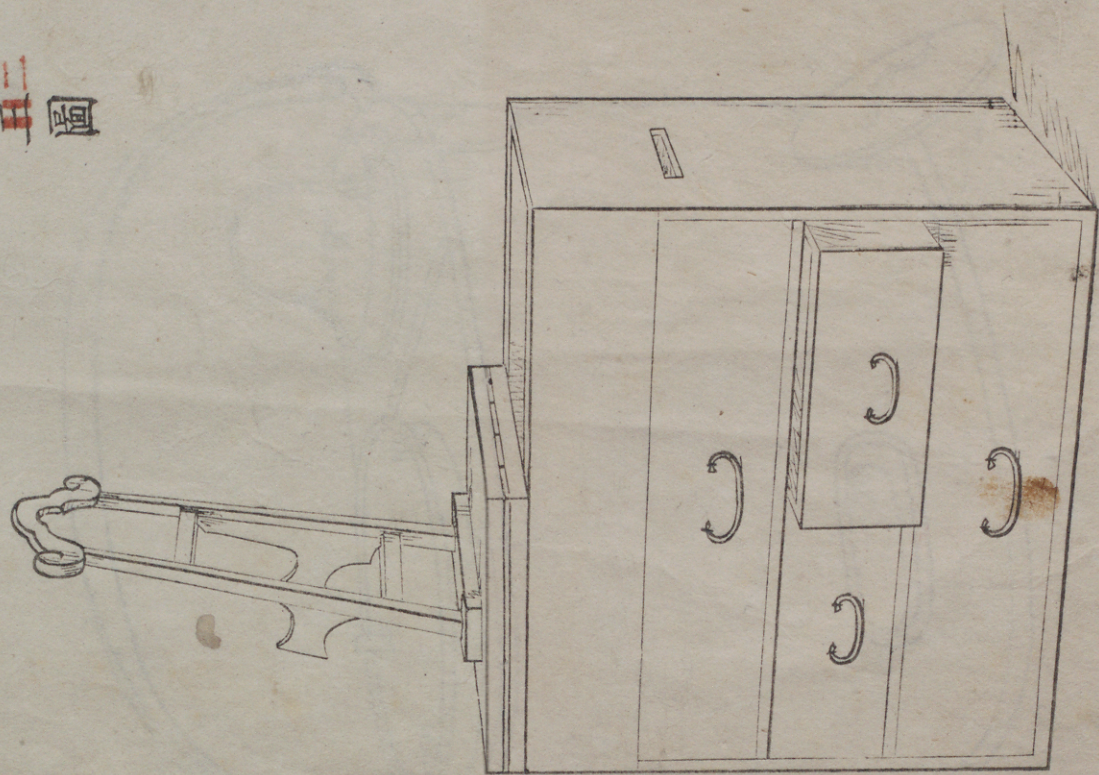
第二十圖



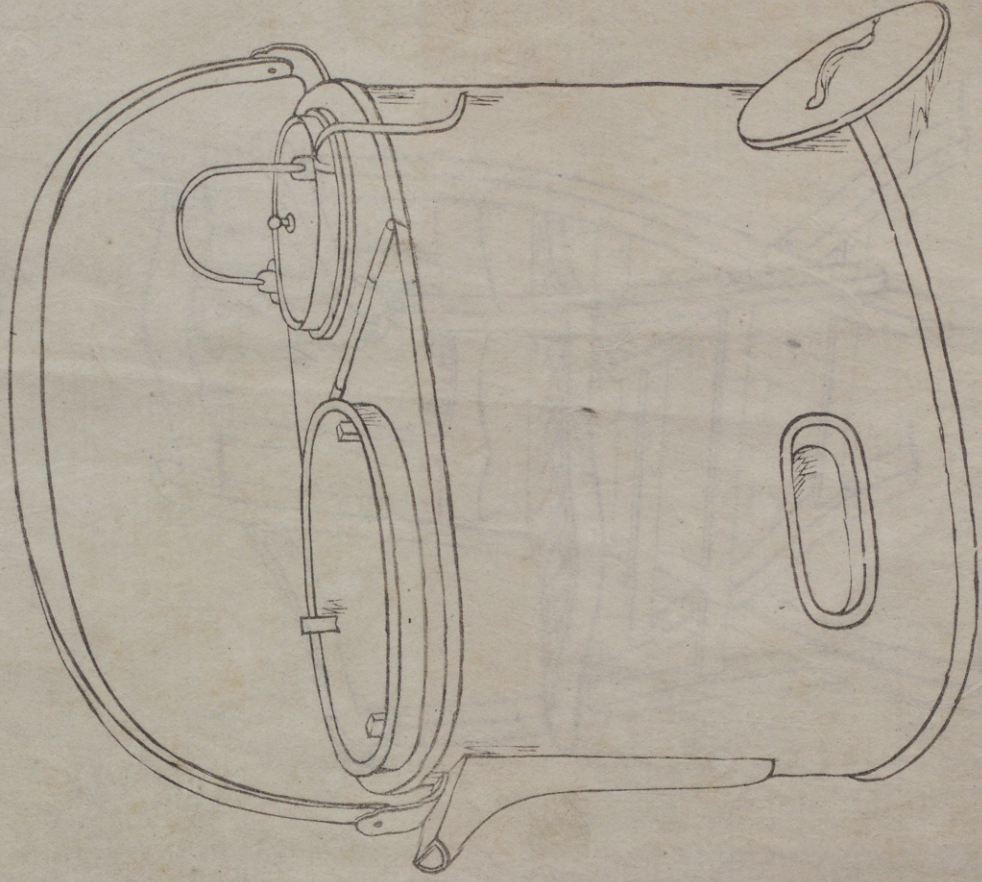
第二十圖



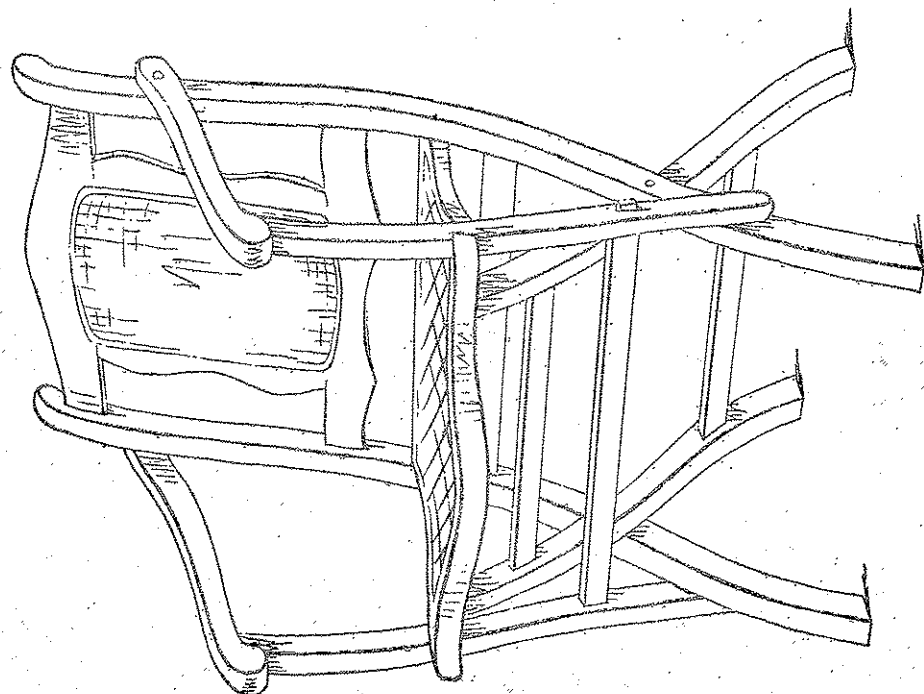
第三十圖

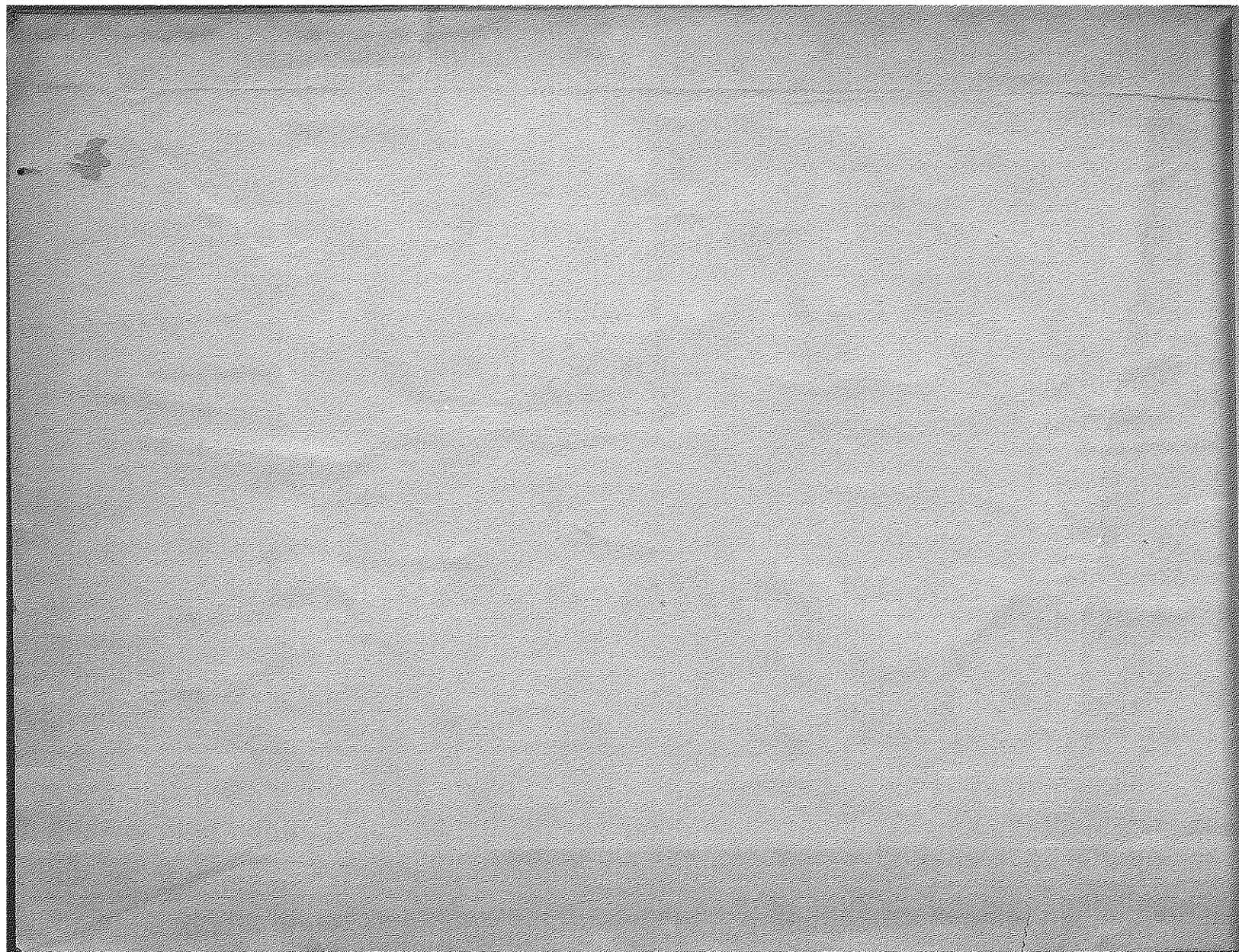


第三十四圖



第二十四圖





図書 和図書 遡



a 1 3 8 0 8 1 7 3 1 3 a

福岡教育大学蔵書